

「10月27日～11月9日 読書週間」

だんだんと涼しくなり、秋も深まりつつあります。物思いにふけることもあるかと思います。

今年も読書の秋が訪れました。「公益社団法人 読書推進運動協議会」のホームページに、「読書週間」の紹介（一般対象）がありましたので、ポスターとともにお知らせします。

読書週間の歴史

終戦の2年後の1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）となったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

先月号の幼稚園だよりで、私の読書についてお知らせしました。その後も何とか読書が続けています。そんな中で、日本の国の歴史について何も知らないなあ、人間って何だろうと、考えています。読書も続けたいです。他の人と話をすることも大切にしたいです。読書と会話を通して、自分自身を見つけていきたいです。そして、秋を存分に楽しみたいです。

